

令和5年度 全国学力・学習状況調査(高田東小学校の結果)

令和5年10月

今年度、全国の6年生に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせします。この調査は、次の目的で実施されています。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

この結果は、児童が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を表しているものではありませんが、平均正答率に加え、中央値・標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフなど、他の情報と合わせて総合的に分析し、今後の児童一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげていきたいと考えています。

<教科別学習状況調査結果>

平均正答率%	国語	算数
高田東小学校	69	68
神奈川県	66	63
全国	67.2	62.5

<本校の6年生の傾向>

国語では、平均正答率は、神奈川県や全国とほぼ同じになりました。漢字に関する問題や文章を目的に応じて要約したり、文章と関係する図を選択したりする問題については平均よりも少し高い結果となりました。

算数では、平均正答率が神奈川県や全国よりも少し高くなりました。二つの数量の変化を表から読み取り、「比例関係」について考える問題や百分率などを用いて計算する割合の問題、さらには日常生活の場面について小数を用いて計算する問題など、様々な領域をこえて、正答率が高くなりました。

一方、どちらの教科においても神奈川県や全国と比較して、無回答率が高い問題が多くありました。国語では、文章に書かれていることに対して、自分の考えを書く問題や資料から読み取ったことをまとめて書く問題など、長文を用いて、表現する問題の無回答率が高くなりました。算数では、グラフの数値から読み取れることを書く問題や図形の面積を求める問題などで無回答が目立ちました。6年生のこれからの学習において、図形の面積や体積に関する単元やデータ活用の単元があります。学習を積み重ねることで、理解を深めていくことができるようにします。また、自分の考えを文章で表現することは、学習のどの場面でも必要となります。今後も継続して、授業の中で自分の考えを表現する時間を設け、粘り強く表現するように支援を続けていきたいと思えます。

今回の調査では、国語や算数の学力だけでなく、児童質問用紙を通して子どもたちの生活・学習意識に関する調査も行われました。

「朝食を毎日食べていますか。」「決まった時間に寝たり、起きたりしているか。」などの質問については肯定的な回答が多くなりました。各ご家庭で、規則正しく健康に生活できるように留意していただ

いていることがよく分かりました。ありがとうございます。

ただ「自分には、よいところがあると思いますか。」「将来に夢や目標を持っていますか。」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合は低く、様々な場面で目標をもって挑戦し、少しずつ成し遂げていくことや子どもたちのよさを見つけて励ましていくことが必要と考えています。また、自分なりのめあてをもって、生活することや学習することのよさ、また自分の目標について振り返ることの大切さを伝えていきます。